

発行所
氷川神社社務所

日本唯一
気象神社

〒166-0003
東京都杉並区高円寺南4-44-19
電話 03-3314-4147
FAX 03-3315-0034

氷川神社
公式HP



気象神社
公式HP



高円寺氷川神社
公式 Twitter



第十四回
高円寺演芸まつり



演芸まつりの寄席のようす(氷川神社大広間にて)



毎年恒例となった
大学生による寄席



参加各大学ののぼりが目立ちました

高円寺の四大まつりー春は「びっくり大道芸」夏は「高円寺阿波おどり」秋は「高円寺フェス」そして冬が「高円寺演芸まつり」です。
「高円寺を演芸のまちにしていきたい」と地域の方々が一体となり、開始以来ここまで盛り上げてきました。来場者も年々増えており、毎年この時期に高円寺のまちを盛り上げてくれています。
今年で十四回目を数えた「高円寺演芸まつり」は2月9日(金)から18日(日)にかけて、高円寺の各会場で、落語、漫談、浪曲、講談などが開催されました。千秋楽の氷川神社の会場でも多くの来場者で盛り上がりました。
また2月9日(金祝)には「キンレイ心染寄席」が開催されました。「キンレイ心染寄席」は「人々の心に染みる」本物の味と日本文化を伝えたい想いのもと、伝統文化である落語を学んでいる学生と日本の食文化(和食)を大切にしたいと考える(株)キンレイによる融合を図ったものです。2020年からは氷川神社が会場となりました。大学生の力の入った寄席に来場者も大いに盛り上がりました。

初開催！ 消防フェス2024

2月17日(土)第1回消防フェス2024が開催されました。「高円寺をお天気や防災を学べる町に」という趣旨のもと、お天気フェス実行委員会が企画し、杉並消防署高円寺出張所の協力による実現することができました。当日は快晴の中、消火器体験、防火衣着衣体験、消防車乗車体験、そしてお天気教室を開催、多くの子供たちにご参加戴きました。今後もお天気教室は定期的に開催していきますので、お気軽にご参加ください。



お天気教室では、冬型の天気図、シベリア高気圧を学び、乾湿温度計を使った湿度の変化を感じる実験などをしました。お天気フェス実行委員会のメンバーも一緒に楽しみながら学ぶことができました。



高円パール商盛會 町会神輿清祓

2月9日(金)高円寺パール商盛會町会神輿の清祓をご奉仕させて頂きました。この町会神輿は浅草の宮本卯之助商店様により丁寧な修復して戴きました。当日はパール商盛會会長の布澤好子様以下役員の方々がご参加されました。見事な姿となつて高円寺に帰ってきた町会神輿を見て、一同は感動された様子でした。今年夏に高円寺の町を巡幸することを楽しみにしております。



見事に生まれ変わった姿で無事に高円寺に戻ってきました

富士スピードウェイ(株)



気象神社 (各種祈願祭)

2月13日(火)富士スピードウェイ(株)様が晴天祈願の為に御来臨されました。2012年から毎年この時期にお越し戴いており、晴天祈願の神事を斎行させて頂いております。今年も酒井良代表取締役以下10名の皆様がお越しになりました。

富士スピードウェイは静岡県小山町にあるサーキット場でありますが、自動車レースのみならず、自動車メーカーやメディア、オーナークラブなど様々な催しを1年間を通じて開催しており、日本を代表するサーキットとして賑わいを見せております。2011年まではイベント時に雨天に祟られることが多かったようで、当時の社長が「晴天御利益のある神社を探せ」というひと声から気象神社にお参りされるようになりました。

今年もイベントがある時は晴天に恵まれ、各イベントが安全に開催され、そして何よりも関係者すべての方々が無事安全に過ごせるように祈念します。

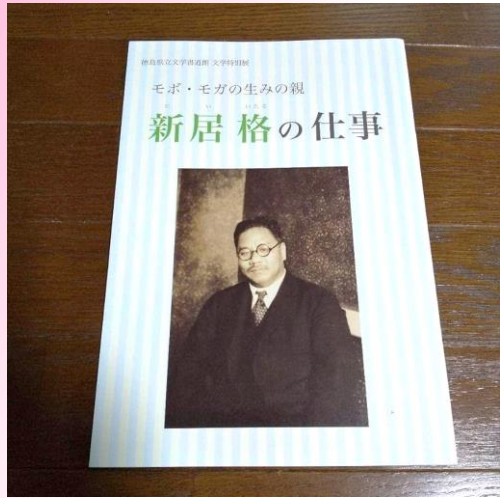
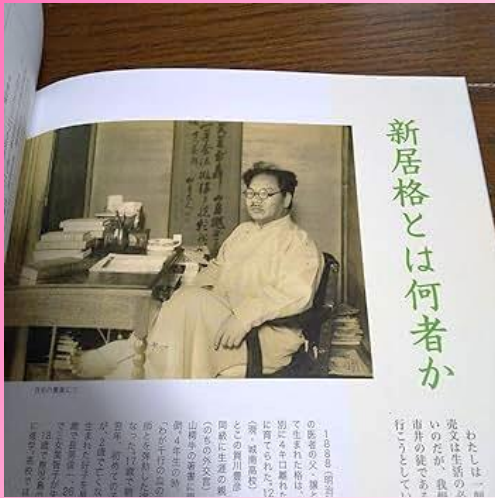


富士山を背にした広大なレース場



新居格(にいいたる)

徳島県生まれ。東京帝国大学法科大学卒業。読売新聞や東京朝日新聞などの記者を歴任。昭和22年4月杉並区の初代公選区長選に当選。



★かつてのこうえんじん★

第六話 新居格

狩野俊



久しぶりに具合が悪く、昼過ぎに床を敷き横になった。「ただいま」という子供の声で目を覚ますと部屋はすっかり暗くなっている。二階で使う妻の包丁の音がかすかに響く。外は雨。屋根や地面に当たる音を聞いていると、家というもののありがたさが、しみじみと身に染みる。具沢山の豚汁と、炊き立ての白米を前にして、幸せを感じる。新居格(にいいたる)にこの感じを伝えたいと思った。明治28年徳島生まれ、大正16年から亡くなる昭和26年までおよそ20年以上、高円寺に住んでいた。

新居格は、多角的に活動した文化人、とても言えばいいだろうか。「モボ・モガ」「左傾」など、現代風に言えば流行語の考案者。小説、随筆、戯曲、翻訳など、様々な文章を執筆した作家。とくにパール・バックの『大地』やジョン・スタインバックの『怒りの葡萄』の翻訳の仕事は名高い。『怒りの葡萄』は砂嵐によって農地を失い、アメリカを放浪する農家の姿を、神によって踏みつぶされる葡萄になぞらえ、タイトルとした。ジョン・フォードによって映画にもなった。

アナーキストを自称する、新居にとって、これらの小説を翻訳し、戦前の日本に紹介し、世界の状況を知ってもらえることは、とても大事な仕事だったと思われる。アナーキストを「無政府主義者」と訳し、危険思想の香りを新居から嗅ぐことは、彼の本質を間違えて理解することになるだろう。私流に新居のアナーキズムを解釈するなら「行政にたよらず、みんなで助け合って生きる」だ。

現在の生活共同組合の前進「城西消費組合」を高円寺の南にある夜みせ通り沿いに戦前に設立し、組合長に就任した。戦時色が強まる中、物資は軍が優先的に使い、庶民は物価不足と高騰に苦しんでいた。野菜や米、醤油、味噌、を始めとする生活に必要なものを、大量にそして安価に購入し、組合員の自宅まで配送するという、現在の生協とほぼ同じシステムを新居は編み実践した。組合事務所では、著名な経済学者によって、世界恐慌と身近な生活がどう結びついているのか、外国語を学ぶことでこの先の日本の進むべき道を考える会など、インテリ組合員による様々な講義が行われた。映画の上映会、託児所の開設、今でいう子供食堂のようなことも行われていた。活動に女性が多く参加していたのも特色のひとつだ。新居の考える生活というのは、衣食住の満足はもちろん、そこに文化的な要素を加えることでこそ、豊かな生活を送ることができる、という思いに貫かれていたように思う。

戦後、新居は戦後初の民選杉並区長となった。「天下国家をいうまえに、わたしはまずわたしの住む町を、民主的で文化的な、美しく住み心地のよい場所につくり上げたい」とその思いを語っている。作家仲間からは「新居が村長になったのはいい。面白い」と言われた。心意気をこめ「大臣以上の村長」を目指し政治を行った。その思いは半ば、健康を損ね、わずかに就任半年で辞職にいたる。

最近出版された『新居格随筆集 散歩者の言葉』の編者、荻原魚雷が、その後書きにこう書いている「売文生活を余儀なくされた新居は「生活」という言葉に自分の理想を込めていた」。

帝大を出て、多くの文章を残し、組合活動や、無念はあるのが政治を通じ、様々なことを成し遂げた新居。しかし、荻原が書くように、彼の生き方の根本には常に生活があった。人の営みを文化というなら、生活と文化はほとんど同じことで、私の冒頭書いた幸せも、新居は笑みを浮かべうなずいてくれるだろう。

楽しく生きよう、少しづつちよっとでいいから、心地よくなるように修正し、多くの人と手を携え、助け合って、楽しく生きよう。新居の言葉が浮かんできた。

「和の輪のWA！」

みんなのお家 エルガーハウス



元気いっぱいの子供たち

氷川神社境内で定期的に開催される「和の輪のWA！」は地域の行事として根付いてきました。今回も元氣いっぱいの子供たちによる出店や出し物をぜひご覧になってください。皆様のご来場をお待ちしております。

日時：令和6年4月14日(日)
11時～16時
場所：氷川神社境内



今月の花手水



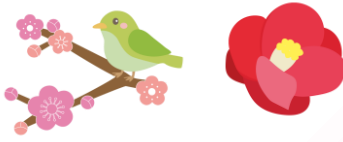
【氷川神社】

- ・スタンドグラスの三つ巴
- ・春の桜の花びら

【気象神社】

- ・ウグイスさん
- ・きれいな椿の花

※公式サイトに過去の御朱印を掲載していますので、ご覧ください。



境内の梅も満開です

令和6年3月の御朱印



今月の御朱印

◆社報「ひかわ」

147号(2018年7月号)から現在の様式になりましたが、過去の社報をお求めになりたい方はお気軽に神社までお問い合わせ下さい。(147号)が対象となります



◆ご祈祷のご案内

氷川神社では各種祈禱を承っておりますので、お気軽に神社までお問い合わせ下さい。また気象神社では晴天祈願をはじめとする各種祈願を承っております。(会社、法人、団体様のみが対象となります)



とても上品なひな人形です



◆ひな人形の展示
3月3日(日)はひな祭りでした。昨年から拝殿と社務所窓口にひな人形を展示しました。3月中は展示していただきますので、是非ご参拝時にはご覧ください。

◆ひな人形の展示

編集後記

ひかわ216号をお送りしました。暖冬といわれる今冬ですが、2月頭には東京都内に大雪警報が発表されるほどの大雪となりました。また2月末には西の高気圧と東の低気圧に挟まれる冬の型の気圧配置となり、等圧線が混むことで強い北風となりました。氏子青年会のメイン行事であるひな祭りも無事に終わり、あつという間に春到来となります。今後ともよろしく申し上げます。

今月の盆栽



氏子地域の盆栽屋ラビア デツン様が毎月盆栽を神社に届けてくれます。素敵な盆栽を毎月紹介していきます。

